



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 松谷 一夫

仙台市青葉区大町1-2-2

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

仙台ユネスコ協会 あと1年で70周年！

2016年3月8日
ユネスコ会館を撮る



私とユネスコの思い出

石井 敏夫

今、私の手元に数枚の写真があります。

1950年（昭和25年）ユネスコ学生会主催第1回 UNESCO 音楽文化講座（ウイリーフライ氏 於宮城学院講堂）の写真のほか、第2回諏訪根自子氏の写真や学生会主催の英会話教室 於仙台市公会堂、アメリカンスクール及び市内小学校有志の写真や、その他、片平キャンパスのユネスコ夏休み学校の写真もあります。



この写真を手元に置いて本当に良かったと今思っています。ユネスコ学生会は、昭和24年から25年にかけて私にとって忘れられない思い出の青春の全てでした。



1950(S25)年 講師 ウイリーフライ氏(前列中央)と 於：宮城学院講堂



1950(S25)年 ユネスコ学生会



アメリカンスクール生との交流

これからの行事と催事

「仙台ユネスコ会館」お別れ会

- 2016年4月28日(木) 午前11時～午後1時30分(予定)
- 仙台ユネスコ会館 1階会議室 ■ 参加費：3000円
- 各ユネスコ教室作品の展示会も行います(4/25～4/28)

※準備の都合がありますので下記へお問合せください(締切:4/25)
仙台市青葉区大町1丁目2-2 仙台ユネスコ会館
TEL 022-224-2581 FAX022-302-3406

「民間ユネスコ運動の日」

- 2016年7月16日(土) 午前10時～
- 仙台市シルバーセンター
- 講演者：雲野 右子(うんの ゆうこ)氏

仙台市出身、フリーアナウンサー、一級FP技能士、世界遺産アカデミー公認世界遺産マイスター等、多くの経歴を持ち講演活動を行っている。



(公益)仙台ユネスコ協会の新住所 (5月10日から31日迄の間で移動する予定です。)

〒980-8671 仙台市青葉区錦町1丁目3番9号 仙台市役所錦町庁舎3階 TEL 022-224-2581 FAX 022-302-3406

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

仙台ユネスコ協会 あと1年で70周年!

創設70周年を1年後に控えて

顧問 鈴木恵奈夫

私は民間ユネスコ協会が“全世界で”初めて仙台に誕生したことは入会して暫くは知りませんでした。私が入会したのは1991年頃だったと思いますが、1993年に副会長に指名されて以来、20年間故藤原五郎会長のもと、微力ながら努めて参りました。

1996年10月9日には仙台国際センターで「50周年記念式典」が開催され、仙台市内外より来賓など約700名の出席のもと盛大に行われました。日本ユネスコ協会連盟副会長の平山郁夫画伯の記念講演が行われ、世界遺産を守るため「文化財の世界赤十字構想」を実現したい、と熱弁を振るわれ、聴衆の感銘を誘ったことが強く印象に残っております。

また、10年後の2007年7月19、20日の両日、仙台市の江陽グランドホテルで「60周年記念式典 兼 東北ブロックユネスコ研究会宮城大会」が盛大に行われ、延べ900名が参加され一部カラー印刷で記念誌も発行されました。

特に印象に残っているのは、5年前の東日本大震災と津波による多くの犠牲者と福島県原発事故による多くの被害の大きさに対し、国内外よりの援助の数々は記載しきれません。仙台ユネスコ協会も日本ユネスコ連盟やスポンサー、宮城教育大学、東北大学の学生部の協力のもと、宮城県・岩手県の被災地の小・中学生対象の子供キャンプや北海道白老町のアイヌ民族芸能と共催で実施した、石巻市雄勝法印神楽と秋保の田植踊(重要無形民俗文化財)への協力などが特に記憶に残っております。

今後は積極的に奉仕活動に参加し、それを一般の方々へ広報し内容を充実した会報を通じ、入会に結び付けたいと考えております。

私とユネスコの思い出

副会長 佐藤 鉄二

私が協会に入会したのが60周年記念行事2年前の藤原会長が元気な任期中でした。盛大な記念行事でしたが、活動面では全盛を思い起こすような活動が少なく、震災前までは在仙留学生のためのバザー、秋のユネスコカレッジ講座、正月明けの子ども絵画展、青葉学園祭・運動会及び高校生の国際理解弁論大会への参加程度でした。

大震災後にボコバ事務局長が来仙、来館、懇談会との出会いに感激しました。その翌年から協会が急変、任期途中で藤原会長が退任、鈴木会長が残任期、その後玉懸会長、更に2015年度から松谷会長が就任しました。私は藤原会長時に監事就任、その後理事長、副会長と順次務め、その間に一般社団法人から公益社団法人へと移行もしました(2014年4月)。震災後は「子どもキャンプ」に関わった思い出もありますが、特にユネスコカレッジの地域遺産講座では古代ろまんシリーズ「奈良・平安時代に学ぶ」を6回、慶長遣欧使節関係資料が「ユネスコ記憶遺産」に登録された記念事業を企画、県の支援で主催、共催で6記念事業を展開しました。

ユネスコ理念を共有した仲間たちと楽しい活動を推進してきたことが良い思い出であります。



掲載・河北新報2016年3月27日

惜別! 仙台ユネスコ会館

理事 加藤 幸子

ユネスコ夏季学校への参加が私とユネスコとの出会い。他者への思いやり・共生の大切さを教えられた記憶があります。当時は岩本外科の岩本正樹先生が会長で、ユネスコ活動の基盤が築かれた時期です。当時、岩本先生を「ユネスコの権化」と評する人が沢山いて、小学生の私にとっても尊敬と憧れの方でした。「ユネスコ会館」を建設した時の会長でもあります。屋上から仙台駅が見通せたと聞いたことがありますので、当時のランドタワーだったのでは…と思ひ起こされます。

来年、人間でいえば還暦(60年)を迎える会館ではありますが、老朽化が進み役割を終えることになってしまいました。この期間、ユネスコ会館で催された各種活動(教養講座・国際交流事業等)の素晴らしさを今更ながら思い出します。ユネスコ会館としては世界最初の建物で、パリ本部より完成が早いのです。また、独自のユネスコ会館を持つ民間ユネスコ協会は、仙台以外には見当たらず、「歴史的建造物」の意義さえ感じてしまいます。

解体決定の現在、ユネスコ活動の活性化の為に会館建設の必要性を説き、莫大な私財を投じた岩本先生をはじめとする先人達の意思を、受け継ぎ伝えていくことが私たちの使命と考えています。

七夕飾りに想いをこめて

理事 川村 洋子

私とユネスコの思い出は「七夕飾りに絆メッセージの感謝の想いをこめて」のイベントを、宮城県ユネスコ連絡協議会とエスパル仙台の協力をいただき、世界に向けて発信できたことです。3年前に学生部3名で始まった新体制での企画でした。震災の後世界の国々から届いた励ましの絆メッセージを被災した子ども達と一緒に、感謝と少し前に進み始めている今を伝えたいとの島田祐輔部長の熱い思いから動き出しました。2016年3月31日に廃校が決まったユネスコスクール中野小学校の子ども達と短冊と折り鶴の制作をしました。心の傷を負った上・下級生がお互いを思いやり助け合っている姿に我々も元気をもらいました。

常盤木学園園長で当協会理事の故松良由貴子さんと生徒達の協力も有り支えてもらいました。カナダ交換留学生と国際交流を交えての授業でメッセージと折り鶴制作と一緒に楽しみました。震災から5年の月日が流れ復興も思うように進んでいない現状を来年全国大会で仙台を訪れる方々と共に七夕が来る度に被災した子ども達に想いをよせて繋がって行くことを願います。

2012年度ユネスコカレッジにて



七夕イベントの告知チラシ



1～2月の活動実績

●2016/1/10(日) 第18回「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展 表彰式



2016年1月10日、東北電力グリーンプラザ アクアホールにおいて、公益社団法人仙台ユネスコ協会主催による第18回「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展の表彰式が開催されました。

仙台ユネスコ協会 佐藤隼二副会長が開会のあいさつを述べた後、松谷一夫会長から「皆さんが一生懸命描いてくれた絵は、審査員の人たちが非常に悩むくらい甲乙つけがたい作品ばかりでした。本日は、選ばれた皆さんに寒い中、来て頂きありがとうございます」とあいさつされました。

続いて佐浦公美理事より、宮城県知事賞など23名の受賞者が発表されました（右表参照）。

続いて、柴田慶夫審査委員長より「皆さんが、残したい物をよく発見して嬉

しく思いました。これからも『何を描くか』について、それを見つける目を磨いていって欲しいと思います。自分の周りの文化や自然に目を向けて楽しんで描いてください」と講評をいただきました。

最後に、松谷一夫会長より表彰状授与が行われ、阿部さか江副会長の閉会のあいさつと入賞者たちの記念撮影で終了しました。



柴田慶夫
審査委員長

入賞者一覧

宮城県知事賞(小学生の部)	柳生小	1年	猪瀬 仁那
宮城県知事賞(中学生の部)	人來田中	1年	本郷莉乃愛
仙台市長賞(小学生の部)	旭丘小	5年	老山 瑛未
仙台市長賞(中学生の部)	西山中	2年	佐藤 冴
日本ユネスコ協会連盟会長賞	柳生小	2年	阿部 笑
仙台ユネスコ協会会長賞	黒松小	6年	千葉 未来
河北新報社賞	上杉山通小	2年	八乙女杜太
朝日新聞仙台総局長賞	通町小	3年	的場 一心
読売新聞東北総局長賞	宮城野中	2年	齋藤 千優
毎日新聞仙台支局長賞	北仙台中	2年	古藤 和佳
NHK仙台放送局賞	国見小	5年	桑 武志
東北放送賞	上杉山通小	5年	岡田 卓大
仙台放送賞	折立小	6年	太田 菜月
宮城テレビ放送賞	旭丘小	4年	木下夏穂子
東日本放送賞	第一中	2年	佐藤名美佳
エフエム仙台賞	金剛沢小	1年	早坂 巧
三菱鉛筆東北販売株式会社賞	愛宕中	3年	清水 諒
JR東日本東北総合サービス樹賞	聖ドミコ学院小	2年	北田 隆翔
佳作	加茂小	6年	山口 恕
佳作	教育大附属中	1年	佐藤 香奈
佳作	高森小	6年	小沢 郁夫
佳作	榴岡小	4年	鳥谷部響大
佳作	上杉山通小	3年	伊藤 遼人

(敬称略)

宮城県知事賞



小学生の部
猪瀬 仁那さん



中学生の部
本郷莉乃愛さん



●2016/2/5(金)・アエル21階ホール ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム 事例発表—青年部活動報告

仙台ユネスコ協会からは松谷会長以下8名が参加をいたしました。

午前中はESD/東北コンソーシアム規約、事業計画及び役員等の協議、報告の総会が行われ、その後各地域から選任されたESD地域コーディネーターからESDの取組み報告がありました。仙台ユネスコ協会からは松坂理事が2017年度仙台で開催される全国大会のPRと小学生・高校生が仙台ユネスコ協会の会館見学を訪れたことや国際交流等のESDにつながる活動報告をしました。

午後からは児童生徒による実践発表が行われ、仙台ユネスコ協会の青年部から第1回宮城ユネスコ子供キャンプの発表がありました。その後、「持続可能な地域づくりに向けた東北地方の多様な主体の参画と協働によるESD推進」と題してシンポジウムがあり、これから当協会がどの様に取組んでいかなければいけないのかを感じました。(理事 松坂 宏造)

ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアムにおいて、青年部の活動について発表する時間をいただきましたので、今村、土佐、三浦の3名で2015年の活動についての発表を行いました。子どもキャンプの中心として青年部活動の活発さをアピールしました。ESDのコンソーシアムということで、ユネスコ団体に限らず幅広い分野でご活躍されている方々に。我々の活動を知ってもらえたことは大変ありがたいことだと感じますし、嬉しく思います。他の方々の発表も聞き、団体は違えどより良い社会を目指す団体の活動を知り、自分たちの活動にも活かせる面があったように思います。今後も、こういった発表の機会があれば積極的に参加し、自分たちの活動をアピールするとともに、他団体の活動にも目を向けていきたいと思ひます。

(今村 優介・東北大学院生)



●2016/2/23(火) 第3回ユネスコスクール ESD講習会 テーマ

「民間ユネスコ協会の役割」
講師：宮教大 及川 幸彦氏
場所：仙台ユネスコ協会 会議室



新春交流会報告 副会長 阿部さか江



2016年2月7日、白石ユネスコ協会新春の集いに参加しました。とても寒い日でした。

白石のプログラムは盛りだくさんで9時45分から始まり12時40分終了、少し時間が伸びたようですが、帰る人もなく大変楽しい集いでした。

講演は「未来に伝えたい世界遺産～私達にできること」講師に世界遺産アカデミー公認・世界遺産マイスターであるフリーアナウンサー雲野右子氏でした。彼女は趣味の旅行を通じて世界遺産に触れたことをきっかけに、NPO法人世界遺産アカデミー主催の検定試験を受験し最高位であるマイスターを取得。現在世界遺産マイスターとして講演活動のほか、各国政府観光局イベント等に積極的に取り組まれている。いろいろな国の世界遺産の話をしてくれました。



2016年2月26日、気仙沼ユネスコ協会第45回新春交流パーティーに参加しました。

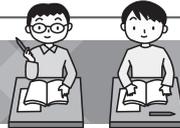
夜の6時30分から各企業の方々、ユネスコ会員等100人以上の方が集まりました。

気仙沼は長い歴史と地域性からいつも多くの人が集い、町おこしにもなっているようです。

小中学校はユネスコスクールがほとんどで、長い間ユネスコ運動をしっかりと進めている佐藤君子会長がいらっしゃるからだと思います。

祝宴は合唱あり、岡淳スペシャルライブ、テナーサックス、フルートの演奏ありで大変盛り上がり、楽しいパーティーでした。

青年部だより



『優秀賞』受賞 青年全国大会2016 in 広島 (1月9日~11日)

広島で行われた青年全国大会には、及川美聡・今村優介・中谷祐太・佐藤穂香の4人が参加し、昨年の「最優秀賞」に引き続き「優秀賞」を受賞しました。大会プログラムは次の4項目。(1)「ユネスコってなあに？」というテーマで、「ユネスコ憲章」をもとにUNESCOの歴史や組織などを勉強し、自分達にできるユネスコ活動とは何かを考えました。(2)各団体の活動発表は、自分たちの活動を振り返ると共に、他団体の活動を知ることでもできました。仙台ユネスコ青年部は「チャレンジ」をテーマにした活動で「優秀賞」を頂きました。(3)平和都市広島のスタディーツアー。広島平和記念公園では広島平和記念資料館を見学後、原爆ドームなどを語り部の案内でまわり、グループに分かれ平和についてのディスカッションを行いました。(4)「青年部ってなあに？」では、全国的青年連絡組織会長や日本ユネスコ国内委員会委員長はじめ参加者全員で考え、未来を担う青年であることに自覚と誇りを持っていきたいと思に至りました。



今回の青年全国大会では、新たな発見やこれからの活動のヒントなど様々なことを学ぶことができました。(佐藤穂香・宮城教育大1年)

宮城教育大学学長奨励賞を受賞して



3月11日に青年部の及川美聡、三浦晴信、土佐克也の三名が宮城教育大学学長奨励賞を頂きました。これまでのユネスコ活動を評価して頂きとても光栄でしたし、見上学長からの励ましの言葉でより頑張っていこうとの思いを新たにしました。

特に宮教大はユネスコの三つの柱である「教育」に特化した大学ですので、そこを入口に少しずつユネスコの輪を広げられるよう青年部が一体となって努力していきたいと考えております。

最後に奨励賞に推薦して下さった仙台ユネスコ協会の皆様と宮城教育大学に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。(土佐克也・宮城教育大4年)

理事の松良由貴子様が、2月に逝去されました 謹んでご冥福をお祈りいたします

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	106
個人会員	168
青年部会員	12
合計	286

(2016.3.31現在)

“11枚の書きそんじハガキでひとりがひと月学校に” ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



書きそんじた郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった52(50)円ハガキは1枚につき47(45)円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりがひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

【編集委員】

委員長：千葉 雅保
副委員長：小泉知加子／兼平 敏子
委員：伊達 洋子 山田 武彦
菅原 京子 黄海富寿雄
戸室 輝信

【編集後記】

会報「仙台ユネスコ」450号をお届けします。今号の特集は「仙台ユネスコ協会 あと1年で70周年!」。今年中にユネスコ会館(1957年創設)も解体することが決まりました。そこで70年を振り返って思い出に残るコメントを会員の皆様に寄せて頂きました。

そして来年は70周年を迎えます。

青年部の皆様の積極的な活動が実りつつある中、より一層充実した会になっていくよう務めてまいります。(副編集委員長 小泉知加子)